

令和 7 年 2 月 20 日

市政記者クラブ 様

健康福祉局健康部中央看護専門学校
担当 山田・柴田 （電話 935-1755）

名古屋市立中央看護専門学校閉校記念式典を開催します

名古屋市民の医療に貢献しうる有能な人材を育成することを目的に、昭和 50 年 4 月、全国初の 3 年課程定時制（修業年限 4 年）の看護師養成所として設立された名古屋市立中央看護専門学校は、令和 7 年 3 月末をもって閉校します。

これまでの学校の教育活動へのご支援ご協力に感謝するとともに、卒業生の更なる飛躍を祈念して下記のとおり閉校記念式典を開催します。

記

1 開催日時

令和 7 年 3 月 1 日（土） 午後 3 時 00 分から 4 時 00 分頃まで

2 開催場所

ホテルメルパルク名古屋 瑞雲の間
名古屋市東区葵 3-16-16

3 参加予定者

約 300 人

4 主な内容

市長感謝状贈呈、メモリアル（映像）放映、卒業生代表あいさつ、名古屋市立大学代表あいさつ、閉校宣言

5 表彰（別紙名簿のとおり）

永年にわたり学校の教育活動にご尽力いただいた個人及び実習施設へ感謝状を贈呈します。

6 その他

- （1）取材をご希望の場合は、2 月 28 日午後 4 時 00 分までに、次の事項をメールでご連絡願います。（社名、来場人数、テレビカメラの有無及び台数、連絡先（担当者、電話番号、メールアドレス））

メール送信先：a9351755@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

- （2）当日は、会場内の「報道受付」までお越しください。

- （3）報道用腕章を着用し式典進行及び来場者に支障がないようご配慮願います。

(別紙)

名古屋市立中央看護専門学校閉校記念式典 被表彰者名簿

(敬称略、五十音順)

個人表彰 (26 名)

赤塚 大樹	飯田美奈子	石塚 友也	伊藤 仁一	井戸 宏子
漆原 治志	奥村 太志	梶田富貴子	小林 身哉	塩野 裕之
鈴木 中人	高橋 寛樹	竹内登規夫	田中 勤	田村 禎章
坪井 秀夫	橋本 茂代	半田 洋子	福岡 秀和	藤野 靖子
藤原 美芽	松野 誠	三谷 竜彦	安林奈緒美	山田 敦子
山田 浩雅				

実習施設表彰 (13 施設・団体)

あいせい紀年病院
愛知県精神医療センター
医療法人北林会北林病院
公立陶生病院
小牧市民病院
大同病院
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター
名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院
名古屋市立大学病院
一般社団法人名古屋市療養サービス事業団
名鉄病院
八事病院

沿革

昭和 49 年 4 月	看護婦不足対策として、名古屋市域看護婦等確保対策協議会を設置する。厚生省は「看護婦養成所の運営に関する指導要綱」を改正し、3 年課程（定時制）の看護婦養成制度が制定された。
昭和 50 年 2 月	3 年課程（定時制）の修業年限 4 年、定員 70 名の学校として厚生省より認可され、第 1 回入学試験を実施する。
昭和 50 年 4 月	名古屋市東区葵一丁目 3 番 27 号の地に名古屋市立中央高等看護学院として開校。1 回生 80 名が入学する。
昭和 51 年 4 月	専修学校（専門課程）の認可を受ける。
昭和 51 年 9 月	校名を名古屋市立中央看護専門学校に変更する。
昭和 53 年 4 月	名古屋市東区葵一丁目 4 番 7 号の地に本校舎の建設工事に着手する。
昭和 55 年 2 月	3 年課程（定時制）修業年限 4 年の定員を 160 名に増員及び助産学科定員 30 名の新設を厚生省より認可される。
昭和 55 年 3 月	本校舎建築工事が完了し、移転する。
昭和 55 年 4 月	助産学科 1 回生 30 名、看護学科 6 回生 160 名入学する。
平成 2 年 4 月	名古屋市立看護専門学校（昭和 42 年開校 名古屋市千種区茂佐裏 26-3 東市民病院（現東部医療センター）敷地内）が廃校になり、同校の 2 年課程を本校に引き継ぎ、第二看護学科（2 年課程）定員 30 名を増設し、従来の看護学科を第一看護学科（3 年課程・定時制）と改称する。
平成 6 年 4 月	3 年課程（定時制）修業年限 4 年の定員を 160 名から 80 名に減員する。
平成 7 年 4 月	助産学科の定員を 30 名から 20 名に減員。3 年課程（全日制）定員 80 名の看護第一学科を新設し、3 年課程（定時制）を看護第二学科に改称、2 年課程（全日制）の定員を 30 名から 40 名に増員し、看護第三学科と改称する。
平成 17 年 4 月	助産学科の定員を 15 名に減員する。
平成 18 年 3 月	看護第三学科を閉科する。
平成 18 年 4 月	看護第一学科及び看護第二学科の定員を 60 名に減員する。看護職員の知識及び技術の向上を図るため、看護職員研修を開始する。
平成 25 年 3 月	助産学科を閉科する。
平成 25 年 4 月	看護第一学科及び看護第二学科の定員を 40 名に減員する。
平成 25 年 5 月	「なごやナースキャリアサポートセンター」を開設し、潜在看護師等に対する研修事業を拡充する。
令和 3 年 7 月	名古屋市立中央看護専門学校条例の廃止が議決される。 令和 4 年度以降の学生募集を停止する。
令和 5 年 4 月	公立大学法人名古屋市立大学へ統合する。
令和 6 年 3 月	看護第一学科を閉科する。
令和 7 年 3 月	看護第二学科を閉科する。 なごやナースキャリアサポートセンターを閉鎖する。 名古屋市立中央看護専門学校を閉校する。

卒業生数 5,930 名（令和 7 年 3 月 1 日卒業生を含む。）